5758-70653B

CARMATE

inno ADVANCED CAR RACKS

IN７４５ ボードアタッチメント 取扱説明書

はじめに

このたびは、カーメイト INNO(RV-INNO)ボードアタッチメントをお買い上げいただきましてありがとうございます。

本品をお使いになる前には、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書をお読みになった後は、必要なときいつでも読めるようできるかぎり身近に大切に保管してください。

本品をゆずられる場合は、次に使用される方のために本書も併せてお渡しください。
また、本書をお読みになられた上で、ご不明な点がございましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。

目　　次

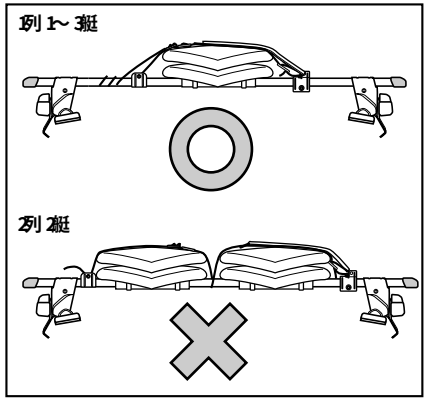
はじめに…… 1
安全にお使いいただくために…… 2
部品内容を確認する…… 7
取付方法…… 7
　ステー・バーを車両に取付ける…… 7
　ベルトホルダー・ベルト取付…… 8
　クレーンをバーに取付ける…… 9
使用方法…… 10
　ボードを積載する…… 10
　ベルトの通し方及び交換方法…… 12
日常のお手入れ…… 13
保管方法…… 14
　各部の点検をする…… 14
　アタッチメントを保管する…… 14
純正補修パーツのご案内…… 15
お問合せ先…… 16

安全にお使いいただくために

必ず守ってください

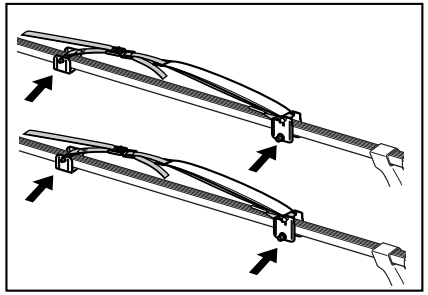
本品を安全に正しくお使いいただくために、次のことがらを必ず守ってください。

警告	警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。



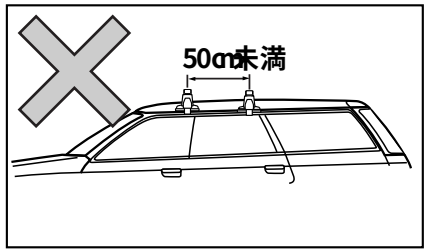
積載物と最大積載量の確認

本品はショートボード 1～3艇、またはロングボードやセイルボード 1～2艇を積載する専用アタッチメントです。
また車種により最大積載量が異なります。車種別適合表を必ずご確認ください。
サーフボード、セイルボード以外のものは固定できませんの。また積載方法は左図に従って下さい。



ボルトのユルミ確認

走行前に必ず前後計 4ヶ所のボルトにユルミがないか点検し、ユルミがある場合は増し締めしてください。

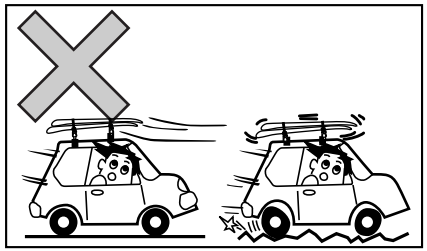


バーの前後間隔　50㎝以上

バーの前後間隔が狭い状態で取付ける危険です。
バーの前後間隔は下表に従い、できるだけ広くとってください。（バーの取付位置が車種毎に決まっている場合はそれに従ってください。）

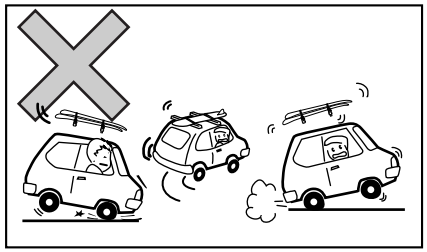
ボードの長さ	バーの間隔
2.5m以下	50㎝以上
2.5m以上	60㎝以上

⚠警告 警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。



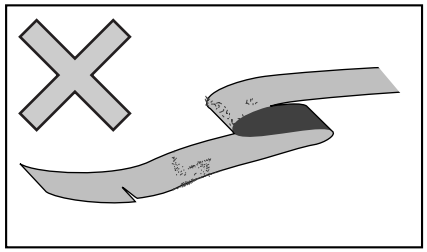
取付状態の確認

連続高速走行、気象条件による規制速度走行、悪路走行をした場合は必ずキャリアや積載物の取付状態を確認してください。



安全運転の厳守

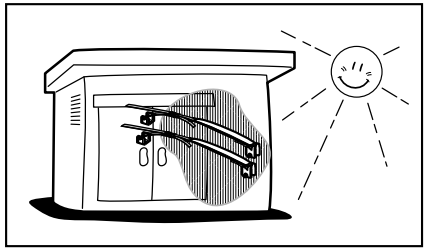
本品の使用に際しては、速度超過・急発進・不要な急ハンドル・不要な急ブレーキをしないでください。やむを得ず急ハンドル・急ブレーキ等を行った場合は、必ずキャリアや積載物の取付状態を確認してください。



ベルトの確認

ベルトは消耗品です。ご使用ごとに必ずベルトの表・裏を点検し、以下の現象が見られたらただちにご使用をやめ、新品（純正補修パーツ）と交換してください。

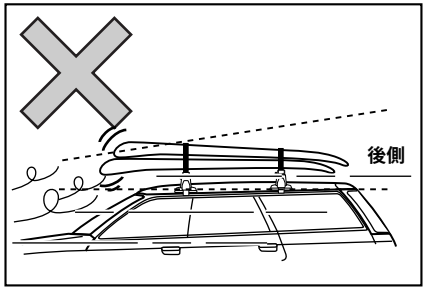
1. ベルトの表面がケバ立ってきたとき。
2. ベルトに損傷があるとき。
3. ベルトの一部もしくは、ある区間の色が薄く変わったとき。
4. 縫い糸にほつれや切れがあるとき。
5. 部品が欠落、損傷、変形、摩耗サビのあるとき。
6. 熱や化学薬品による損傷が見られたとき。



紫外線注意

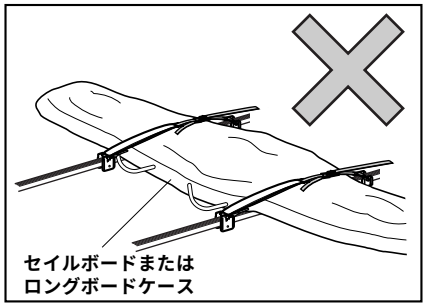
ベルトは紫外線により劣化します。ご使用にならないときは、必ず取り外し、直射日光の当たらない場所に保管してください。

⚠警告 警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。



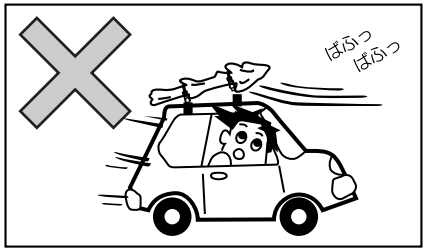
前側を低く積載

サーフボード、セイルボードを重ねて積載するときは、前側を低くして積載してください。
前側が高くなると、空気抵抗が増し、強い風圧を受け脱落するおそれがあります。



セイルボードやロングボードはケース禁止

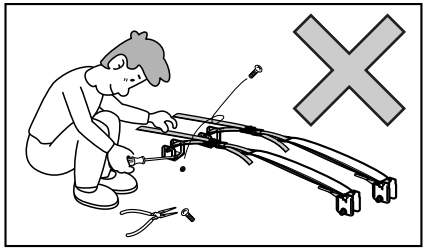
ショートボードのみケースに入れて積載できます。
セイルボードやロングボードをケースに入れて積載すると、風圧が大きくなりすぎ危険です。



ケースはしっかり固定

ショートボードのみケースに入れて積載できますが、ケースはバタつかないようにしっかり固定する。ケースがばたついた状態で走行すると、風圧が大きくなりすぎ危険です。

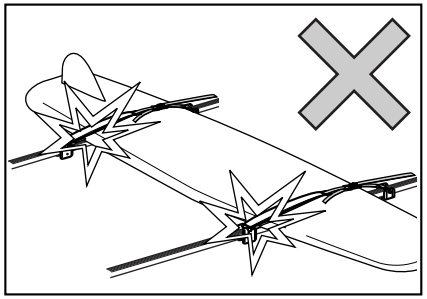
⚠警告 警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。



製品改造禁止

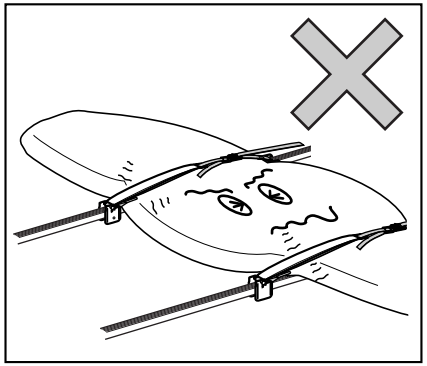
本品を改造してのご使用はしないでください。

⚠注意 注意事項を守らないと、ケガを負ったり、製品 ·車両 積載物が損傷するおそれがあります。



プロテクターを使用する

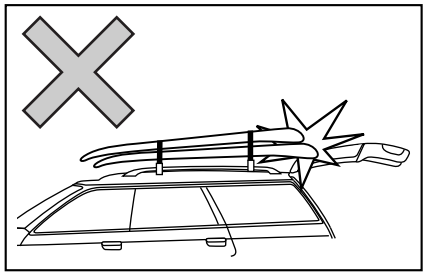
ボードをケースに入れないで積載する場合は、別売の INNO ボードプロテクターを使用して積載してください。
バーがボードに直接当たり、ボード本体に傷がつくおそれがあります。



ベルトの締めすぎ注意

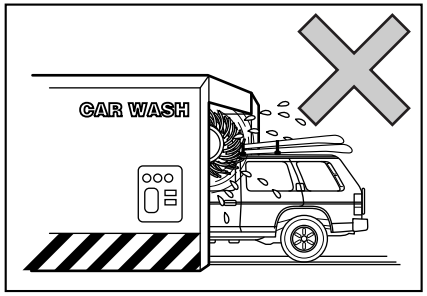
ベルトを締める際はへこまない程度に確実に締め付けてください。過度に締め付けるとボード本体に割れ、ヘコミなどが生じるおそれがあります。

⚠注意 注意事項を守らないと、ケガを負ったり、製品 ·車両 積載物が損傷するおそれがあります。



リアゲート注意

リアゲートやトランクをボードに当てないでください。もし、当てた場合は必ずキャリア及びアタッチメント、積載物の取付状態を確認してください。

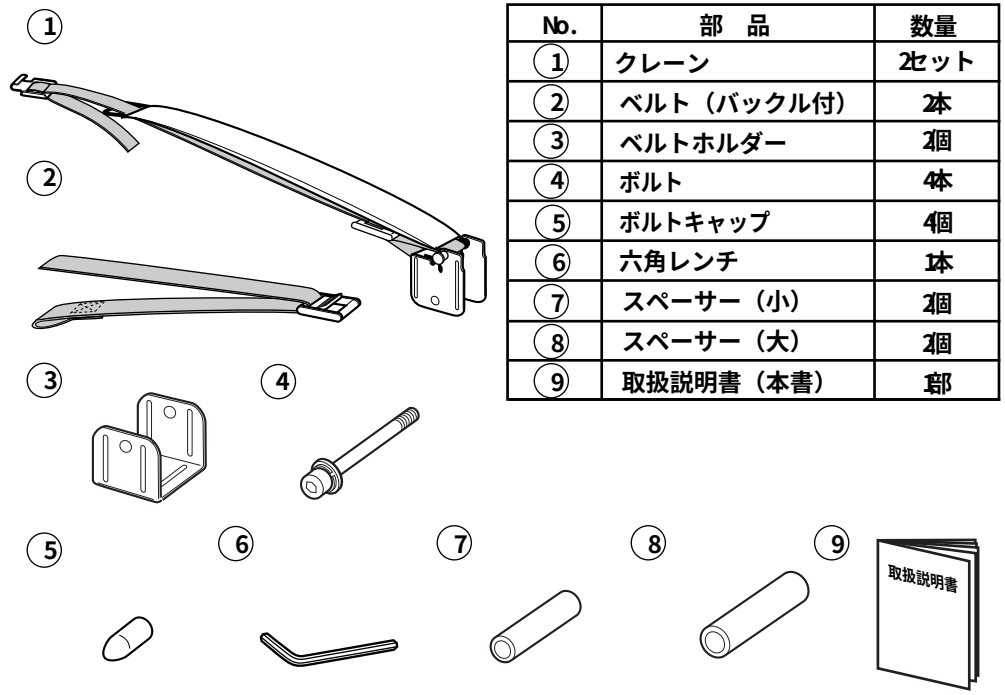


洗車機禁止

キャリアを取付けたまま洗車機を使用しないでください。

部品内容を確認する

本品には、次の部品が入っています。内容が正しいかどうか確認してください。万一、不足部品がありましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。



No.	部　品	数量
①	クレーン	2セット
②	ベルト（バックル付）	2本
③	ベルトホルダー	2個
④	ボルト	4本
⑤	ボルトキャップ	4個
⑥	六角レンチ	1本
⑦	スペーサー（小）	2個
⑧	スペーサー（大）	2個
⑨	取扱説明書（本書）	1部

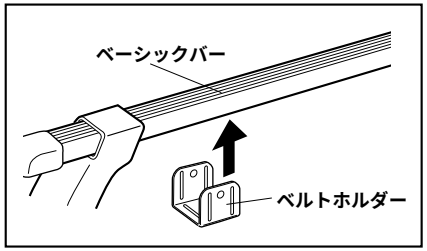
取付方法

ステー・バーを車両に取付ける

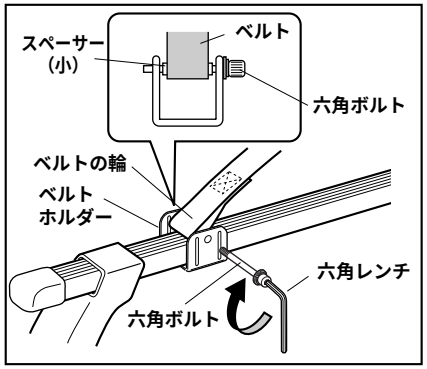
1 ステー・バーをベーシック・ステーセットの取扱説明書に従って正しく取付ける。

ベルトホルダー・ベルト取付

ボードの大きさに合わせてベルトホルダー・ベルトを取付けます。



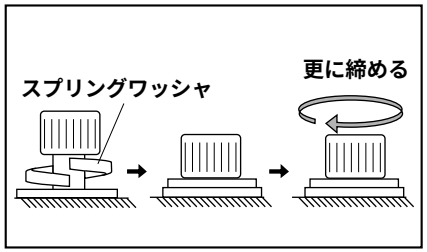
1 ベルトホルダーをバーの下側よりはめこむ。



2 ベルトの輪にスペーサー(小)を通しそこに六角ボルトで付属の六角レンチを使用し、サブホルダーに確実に締め付ける。

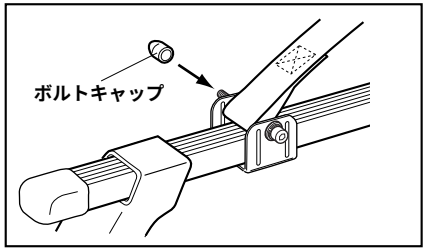
参考

移動式、固定式いずれの場合もベルトホルダーは固定します。



参考

六角ボルトは、スプリングワッシャーが平らになるまで締め込みさらに本体が変形しない程度に固く締め付けて下さい



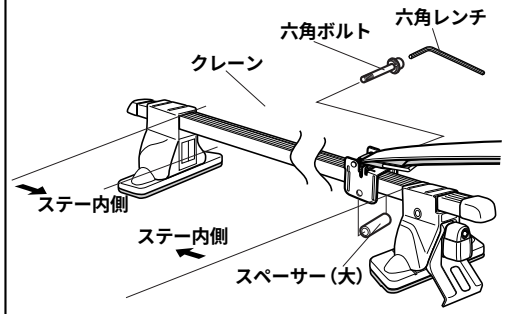
3 ボルトキャップをはめ込む。

クレーンをバーに取付ける

バーの取付には移動式と固定式の 2通りあります。

⚠警告

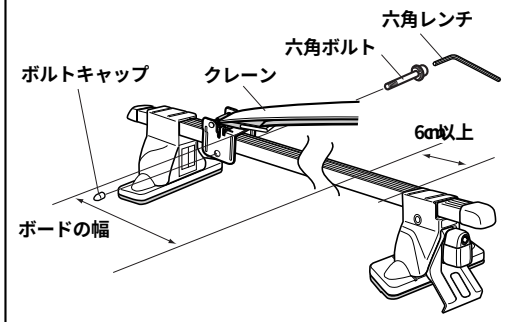
クレーンは必ずステーの内側に入れてください。



移動式の場合

ボードプロテクター等を使用せず、市販のボードケース等を使用して、直接バーへ積載物を固定する場合。

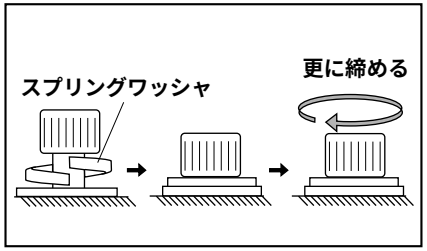
クレーンをベーシックに差し込み、付属の六角レンチを使って、図のようにスペーサー（大）を使用し、クレーンを六角レンチで固定する。



固定式の場合

ボードプロテクター等を使用して積載物を固定する場合。

積載するボードの幅に合わせて付属の六角レンチを使ってクレーンを六角ボルトで固定する。ボルト先端がとび出る場合はボルトキャップをはめ込む。（スペーサー（大）は使用しません。



☜参考

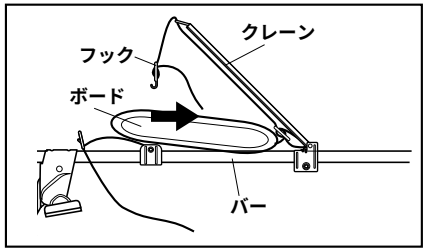
六角ボルトは、スプリングワッシャーが平らになるまで締め込みさらに本体が変形しない程度に固く締め付けて下さい

使用方法

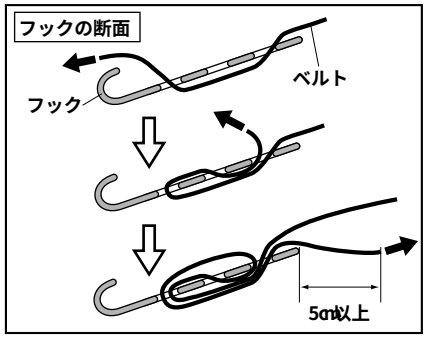
使用 1

ボードを積載する

移動式の場合



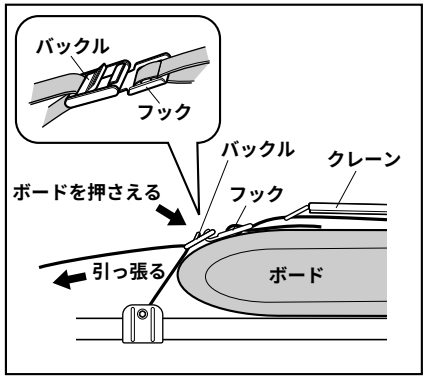
1 ボードをバーの上にのせ、左図のようにクレーンをボードで押す。



2 クレーンのベルトの長さをボードの幅や積載枚数にあわせて調節する。

⚠警告

●ベルト端面は、フックから 5cm以上出してください。端面が短いとベルトが抜け、脱落の危険があります。
●ベルトの通し方は、図を参考の上正しく通してください。間違った通し方をしますと、脱落の危険があります。



3 フックにバックルを引っかけ、ベルトを引っ張り積載物を固定する。この時ボードを押さえながらベルトを引っ張るようにする。

⚠注意

ボード（サーフボード、セイルボード）を固定する場合は、過度に締め付けると、割れ・ヘコミ等が発生するおそれがありますので、締め過ぎには注意してください。

4 ボードが確実に固定されているか、ボードを揺すってみて確認する。

⚠警告

走行前には必ずボード及びボルトが確実に固定されているか確認してください。確実に固定されていないと脱落する危険があります。

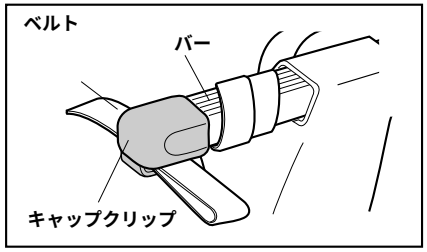
5 余ったベルトをバーに巻き付けほどけないようしっかりと結び固定する。

⚠注意

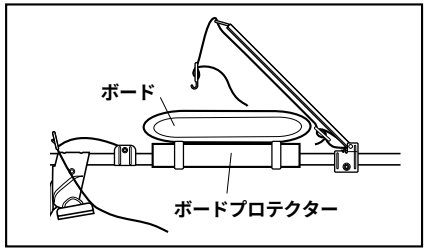
余ったベルトは、必ずほどけないようしっかりと結び、固定して下さい。固定しないと走行中バタツキ、ルーフが傷つく場合があります。またベルトの寿命を縮めてしまいます。

☜参考

余ったベルトは別売の INNOキャップクリップで固定すると便利です。



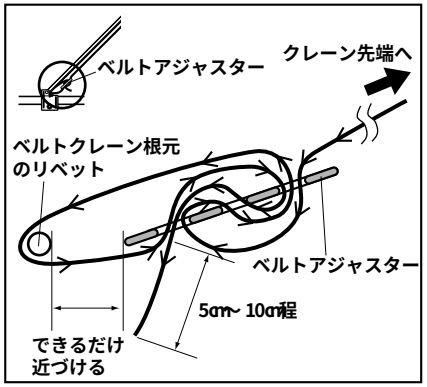
固定式の場合



1 バーにボードプロテクター等のクッション材を置き、その上にボードを載せる。

2 ここからは移動式の場合（P10）の2～5と同じ作業を行う。

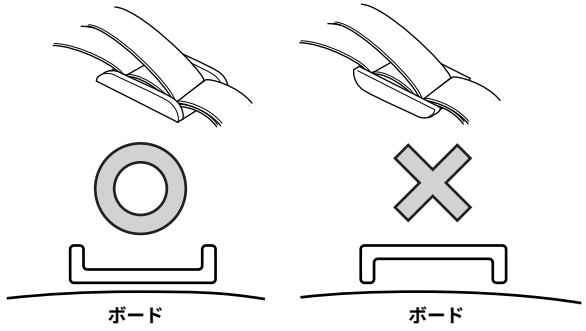
ベルトの通し方及び交換方法

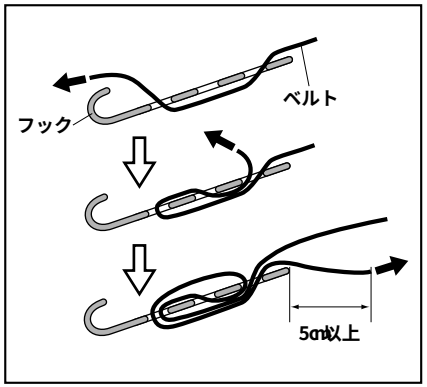


1 新しく用意したベルトセットのクレーン側のベルトを図を参考にしてクレーンの根元のリベットにベルトアジャスターを介して通す。

⚠注意

アジャスターの向きに注意してください。





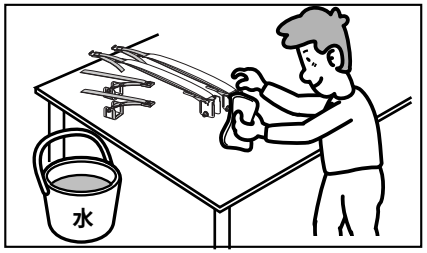
2 長く余った方のベルトの端面をクレーンの先端に通してからベルトの長さ調整の要領でフックにベルトを通す。

⚠警告

間違った通し方をしますと、脱落のおそれがあります。

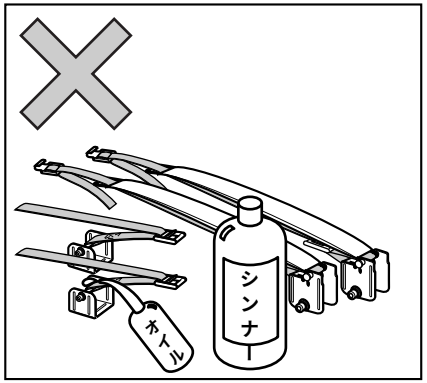
3 キャリア本体が緩んでいないかキャリアを前後左右に揺すります。
キャリア本体の取扱説明書に従い各部を増し締めする。

日常のお手入れ



1 水で泥汚れを落とす。

2 水を含ませ固く絞ったタオルで汚れを取除く。

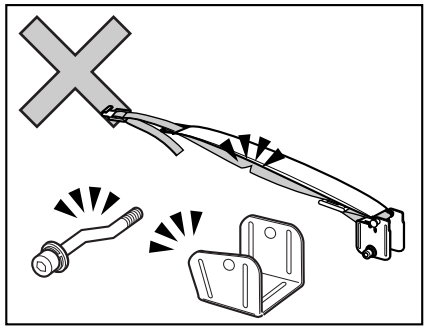


参考

- シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- ボルトへの給油はしないでください。

保管方法

各部の点検をする

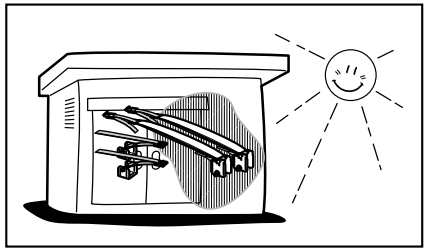


1 アタッチメントを清掃し、各部に異常がないかを点検する。

点検方法

- アタッチメントに亀裂、変形、破損がないか点検する。もし亀裂、変形、破損があれば使用 しないでください。
- ベルト、ボルトに亀裂、変形、破損がないか点検する。もし亀裂、変形、破損があれば交換してください。

アタッチメントを保管する



1 直射日光の当たらない乾燥した屋内に、アタッチメントを保管する。

参考

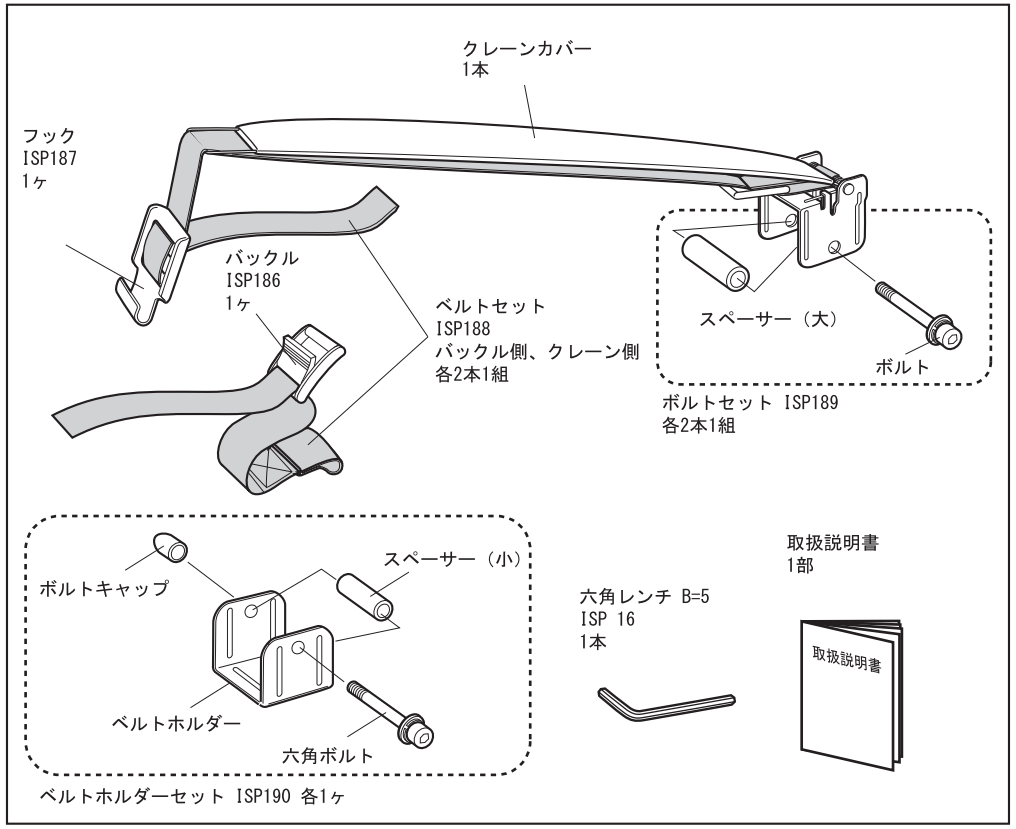
- アタッチメントを使用しない時は、雨や紫外線などによるサビや劣化などを防ぐために、車両から外して保管してください。
- ボルト等の小物部品は、まとめてビニール袋などに入れてアタッチメントといっしょに保管すると便利です。

純正補修パーツのご案内

本品には、下記の純正補修パーツがあります。お求めの際には、キャリアを購入された販売店にパーツNo. またはパーツ名を指定してご注文ください。

参考

●本品及び純正補修パーツの仕様と外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



お問合せ先

商品についてのお問合せ・補修パーツのご注文は、下記のサービスセンターへお問い合わせください。
なお、誤った取付けや使用、改造しての使用、台風等の天災による事故などの責任は一切負いかねます。

お問い合わせ窓口：カーメイトサービスセンター
ホームページ：http://www.carmate.co.jp/toi/
TEL.03-5926-1212（代表）FAX.03-5926-1218
〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11

株式会社カーメイト http://www.carmate.co.jp/
2004.2.1現在
この取扱説明書は環境保全のため再生紙を使用しております。